

資源を大切にしよう



1人当たりの資源化量
(昭和63年度)

平塚市	47.36kg
川崎市	19.73kg
一宮市	35.66kg
沼津市	26.38kg
甲府市	22.31kg
茅ヶ崎市	29.52kg
藤沢市	30.63kg
鎌倉市	17.68kg
横須賀市	27.82kg

地球にやさしいリサイクル

ごみは宝の山です みなさんの出し方次第で!

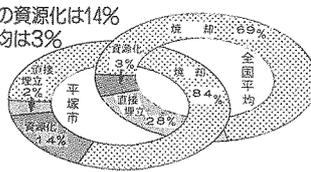
ごみの減量化や資源ごみの有効利用を図るため始めた「新平塚方式」によるごみの分別収集は、実施して四年にたちます。お陰様で、平塚市のリサイクル(資源再生)ごみは、三年連続で、一万トンを突破することが確実です。特に今年度は、約一万二千五百トンになる見込みです。この数値に協力ください。

ごみの中には
35%の紙類が
ごみの資源化率

世界中で今一番重要な環境保全は、緑の保護といわれています。しかし、まだまだ世界では、ごみになり、緑が焼却され、埋め立てられています。

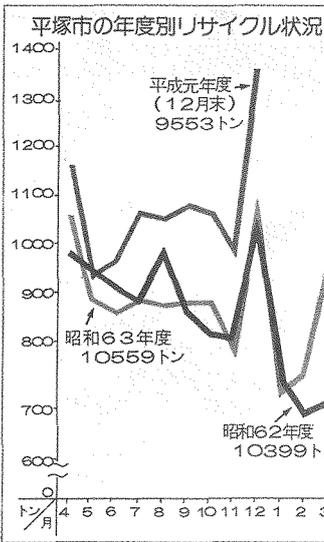
平塚市でも焼却しているごみの約五分は紙類です。この二、三年間で約百十トンのごみを焼却しましたので、この中に含まれる紙類は三十八万五千トンになる計算です。これは、七百七十六本の立ち木を伐採して、燃やしたことになります。

今、地球にとって最も大切と言われる熱帯雨林の広さにすると、一万五千四百ヘクタールになり、神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県、南関東、もちろん、紙にも資源化で



リサイクルすれば宝の山
リサイクルができれば、平塚市のごみは宝の山です。アルミニウムをリサイクルすれば、ボーキサイトの鉱山や電力エネルギーが節約できます。鉄をリサイクルすれば、小さな鉄鉱山と大きな溶鉱炉の節約となります。

燃せるごみの中に
紙類が三万五千五百十トン
再生紙を使用
平塚市は、昨年から試験的に再生紙の使用を始めて、一月からは本格的に長期保存文庫や帳簿を除く通知文書、チラシ等の印刷を、再生紙で使用しています。



燃せるごみのステーションに出ている資源ごみを集めて試験しました。資源ごみとして出すときと同じ量を、紙類や雑誌、缶類、ビン類などを、燃せるごみの中に集めてみました。その量は一年間にすると、四万四千トンにもなる計算です。特に、新聞紙や雑誌、ダンボール等の紙類が燃せるごみの中に多く出ています。資源再生

紙は10〜15回リサイクルを
生きた紙は、一度焼却すると壊れるまでリサイクルできません。原料、エネルギー、大気等ほとんど影響を与えません。地球にやさしい優等生といえるでしょう。

然にやさしいコンポスター 生ごみの減量に最適です

資源の節約と 自然環境を守る

自然環境を守る

今、かけがえない地球が、しかし、その商品も最後に
病んでいきます。二酸化炭素には、全てごみとなってしま
よる温暖化現象、フロンガス。例えば、まだ十分使
によるオゾン層の破壊、熱帯
雨林の著しい減少など、私た
ちの生活に欠くことのできな
い大切な地球環境が、危殆に
ひんしていると言われ、いま
す。このままでは、近い将来
私たちの日常生活に色んな悪
影響が生じることでしょう。
振り返ってみると、高度経
済成長を境に、私たちの生活
様式が大きく変わりました。
商品が大量に生産し、消費す
ることが美徳とわれ続け、
その結果、私たちの身の回り
には、多くの商品があふれる
ようになりました。

しかし、その商品も最後に
せるごみ出すと、結の無駄
遣いと大気汚染の原因となり
ます。
しかし、ごみをどうにか
焼却処理や破砕処理をしても
最後には灰や不燃物を、
地上に残って環境を少ずつ
破壊していくのです。
この様に、毎日なげなく
取り巻く社会環境に、大きくか
かわっています。しかも、か
げがえのない地球に大きな影
響をおよぼしているのです。
今こそごみを通して、資源の
節約と地球環境の保護を考
え、昔い地球を未来の子供た
ちに引き継いでいくありませ
うになりました。



生ごみが半分に

97%が「効果があります」

今、平塚市では、生ごみを
焼却処分ではなく、コンポス
ターという生ごみ処理器を使
って、生ごみの減量を図ると
ともに、生ごみを自然へ帰す
工夫をしています。
コンポスターというのは、



ポリバケツの底をぬいて、地
面埋め、上に土をしたも
のですが、微生物の働きによ
り、生ごみが分解され、水に
溶ける物質に変化し、地中に
吸収され消滅してしまいう
です。これがあると、毎日身

みが半分減量した方は、ま
余体の六分の一もありません。
ま



においがせず
台所がきれい
尾上忠一氏(無子原)

た、コンポスターがごみの減
量化に効果があると考えてい
る方が全体の九七割にも上る
数字が出て、大変よい評価を
得ています。
今後、この結果を慎重に分
析して、ごみ減量化に役立て
るとともに、自然環境の保護
を積極的に押し進めようと思
っています。

誠に便利、台所の生ごみが
食卓ごとく捨てられるので、
食卓ごとく捨てるので、勝
手口から五日の目だまりに設
置してあるが、みかん一つ食
べても、その皮がすぐコンポ
スターに入るの、台所は汚
れずいつもきれいなものである
。そのためか、いつも気持ち
よく調理ができ、うまいも
のが作れそうに感じている。
以前は、夜間台所に入ると
ゴミアプリが逃げ隠れしていた
のだが、コンポスターを使
用するようになってからは、
ゴミアプリを見かけなくなっ
た。なるほど、生ごみの量を
減らすからゴミアプリが寄つて
きたのだ。今までは、ビニ
ール袋に入れて翌日外に出し
ていたが、一昼夜台所に生ご
みがあった訳である。夜に出
したとしても猫に死なされ、
付近が散らかり不衛生だった
が、この心配もなくなった。
コンポスターには、生ごみ
だけでなく、庭から出る雑草
やせん定した小枝なども全部
投入していい。すぐ一杯にな
るが、よくくみ込んで行くと
数日でぐんぐん減って行くの
である。雑草処理にも大変便利
である。この草木類が大量に入
るためか、悪臭の心配は全く

量…手軽にできることからご協力を!

い切るようにする

日は、食べ残しと残りも使ったお料理教室です。

必要でないものは買わない

物を修理して使う

「太郎! 来てごらん!」

の野菜くず等は
や庭にうめる

使い捨て商品は買わない

新人類の生態

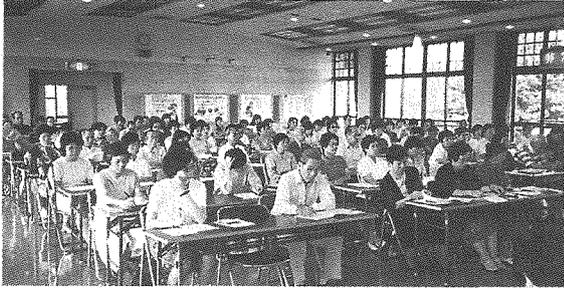
コンポスターの利用を

リサイクルできるものを買う

不要品の交換、ゆずりあい

使い捨てビン時代

「あなた! もう家でビールを飲むのやめてくださいませんか?」



地域のみなさんにごみ減量化の説明をするごみ減量化婦人の会

名刺1枚でも資源ごみ 平塚市ごみ減量化婦人の会



公民館まつりに参加してごみ減量化のPR



世界中に広げよう 梶山 富子(山下)

「名刺1枚でも資源ごみ」を合い言葉に、平塚市ごみ減量化婦人の会ががんばっています。この減量化を推進し、埋立て最終処分場の拡大を阻止し、資源ごみを減らすことが、地球環境問題に大きく貢献すると思っています。中でも経済大国日本は、その経済力を背景に、石油を始めあらゆる原材料を輸入し、多種多様な商品多量を生産しています。

の延命と云処理経費の節減、さらに地球環境の保護を目的に、地域に根付いた活動を展開しています。

特に最近、地球環境問題が、大きくマスコミに取り上げられ、重要課題問題になっていっています。中でも経済大国日本は、その経済力を背景に、石油を始めあらゆる原材料を輸入し、多種多様な商品多量を生産しています。



紅谷パールロードで資源の節約を呼び掛けるごみ減量化婦人の会

今、平塚市で行っているごみの資源化は、まさに資源節約のエネルギーといえます。例えば、昭和六十三年度に市民が出したごみは、原本に換算すると八万五千本に相当するといわれています。地球上からすれば小さな小さな平塚市ですが、地球の緑八万五千本も残すことができたことは、大変すばらしいことだと思います。



市民のみなさんの苦情や意見も取り次いでいる

このように、身近なごみを積極的に減らすことが、地球環境の節約につながります。さらに、エネルギーの節約は、大気汚染の防止につながり、青い地球を守ることになります。

このように、身近なごみを積極的に減らすことが、地球環境の節約につながります。さらに、エネルギーの節約は、大気汚染の防止につながり、青い地球を守ることになります。

私たちの主な活動は、次のとおりです。どこか見かけたらぜひ応援してください。

◆主な活動内容

- ①ちらしを作成し、市民に理解と協力を呼び掛けています。
- ②公民館まつりなどの行事に参加して、宣伝活動を行っています。
- ③地域の方々を対象に、「ごみ減量化」の話をしています。
- ④ごみ減量化の視察を行っています。
- ⑤ごみ研学会に参加して、知識の修得に努めています。
- ⑥商店街のお祭りに参加し、街頭宣伝をしています。

世界は一つよその国のことも考えて消費しよう



設置場所は	庭82%、畑12%、菜園2%、不明4%
ごみの投入回数は	毎日64%、1日おき19%、週3回8%、週2回6%、週1回2%、不明1%
生ごみを投入する量	全量57%、7割25%、5割11%、4割1%、3割4%、不明2%
可燃ごみがどの程度減量したか	5割45%、7割23%、3割19%、1割1%、不明12%
コンポスター内に害虫が発生したか	多少発生した60%、発生しない22%、多量に発生した17%、不明1%
周辺の臭いは	ない70%、多少臭い29%、臭い1%
一杯になりコンポスターを移動したか	いいえ94%、はい5%、不明1%
コンポスターを使用した感想は	使い良い53%、普通22%、多少面倒22%、非常に面倒1%、不明2%
ごみ減量に役立つか	はい97%、分からない2%、いいえ1%
今後もコンポスターを使用したか	はい91%、分からない6%、いいえ3%

近所で生ごみの処理ができ、しかも肥料として活用できるのが大変便利なものといえます。

現在、モニター百六十人の方々に、このコンポスターを使用していただいています。が、使用状況の中間報告が寄せられています。

この結果を見ると、可燃ごみの減量が見られ、臭いもほとんど発生していません。

コンポスター内で生ごみの減った第1週(7日目) 第3週(21日目) 第6週(42日目)

「生ごみ」

前の分は、そのまま野積み、隣りに移動した。たい肥であるが、これといって悪臭はない。いずれにしても、至極便利なのなので、多くの家庭で使用されることを望む。

簡単にできるごみの減

過剰包装の追放と無包装購入

全部使

物を大切にしよう

「今日のを

台所の畑

買ったかごを使います

台所ごみの水切り

更に「ゴミをひとしきり

私たちの主な活動は、次のとおりです。どこか見かけたらぜひ応援してください。

